KENWOOD

マルチビュー車載カメラ

CMOS-310

スタンダードリアビューカメラ

CMOS-210

取扱説明書

お買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用の前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管してください。
本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 JVCケンウッド

正しい取付け
正しい操作で
安全運転

ユーザー登録について

カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録（My-Kenwood）をお願いしています。
弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。
http://jp.my-kenwood.com

B64-4962-08/00 (J)

安全上のご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。記載している表示・図記号についての内容を良く理解してから本文をお読みになり、必ずお守りください。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠警告

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

△記号は、注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。図の中に具体的な注意内容が描かれています。

⃠記号は、禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

●記号は、行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠警告

配線・取り付けについて

DC12V⊖アース車で使用する
本機はDC12V⊖アース車専用です。DC24V車（大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など）で使用しないでください。火災や故障の原因になります。

配線・取り付け作業中は必ずバッテリーの⊖端子をはずす
バッテリーの⊖端子をつないだまま配線・取り付け作業をするとショート事故による感電やけがの原因になります。

コード類は運転や乗り降りの妨げにならないように引き回す
ステアリング・シフトレバー・ブレーキペダルや足などに巻き付かないように引き回し、まとめたりして固定してください。事故やけがの原因になります。

説明書従って配線・取り付けをする
正しく配線・取り付けをしないと、火災や事故の原因になります。

取り付け・アース配線などに保安部品を絶対使わない
車の保安部品（ステアリング・ブレーキ系統や燃料タンクなど）のボルトやナットを使用すると、制動不能や発火、事故の原因になります。

取り付け・配線後は、車の電装品が正常に動作することを確かめる
車の電装品（ブレーキ、ライト、ホーン、ウインカー、ハザードなど）が正常に動作しない状態で使用すると、火災や事故の原因になります。

ねじなどの小物類は、乳幼児の手の届くところに置かない
あやまって、飲み込む恐れがあります。事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

安全な場所で取り付ける
取付作業中は、車を安全な場所に止め必ずブレーキをかけてください。また周囲の安全を確認しながら行って下さい。人や物にぶつかり事故の原因になります。

コード類は高温部を避けて配線する
エンジンルーム内の配線はコルゲートチューブを使用する
コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし火災や感電の原因になります。

分解・修理および改造はしない
分解・修理、改造、コードの被覆を切って他の機器の電源を取るのは絶対におやめください。火災や感電、故障の原因になります。

使用について

必ず目視による安全確認をしながら車をゆっくりと移動する
カメラの映像は実際の距離と感覚が異なります。画面だけでなく、必ず目視による安全確認をしながらゆっくり移動してください。人や物にぶつかり、事故の原因になります。

必ず規定容量のヒューズを使用する
交換は専門技術者に依頼する
規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災や発煙・発火、故障の原因になります。ヒューズの交換や修理は、お買い上げの販売店、またはお近くの当社サービスセンターにご依頼ください。

故障や異常な状態のまま使用しない
万一、故障や異常が起きた場合は、ただちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店、またはお近くの当社サービスセンターにご相談ください。そのまま使用を続けると、火災や感電、故障の原因になります。

⚠注意

配線・取り付けについて

コードの扱いに注意する
コードを傷つける、無理に引っ張る、折り曲げる、ねじる、加工する、重いものをのせる、熱機器に近づけるなどしないでください。断線やショートにより、火災や感電、故障の原因になることがあります。

必ず付属品や指定の部品を使用する
指定以外の部品を使用すると、機器の内部を損傷したり、しっかりと固定できずにはずれたり、事故や故障、火災の原因になることがあります。

カメラは落下しないようにしっかり取り付ける
走行中にはずれて落下し、事故やけがの原因になることがあります。

コードは、水が進入しないように車内に引き込む
雨や洗車などの水が車内に浸水すると、火災や感電の原因となることがあります。

配線・取り付け、取り外しは専門技術者に依頼する
配線・取り付け、取り外しには、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

使用について

車載用以外には使用しない
本機は車載専用です。車載以外（ボートなど）に使用すると、火災や感電の原因になることがあります。

使用上のご注意

取り付け上のご注意

- 後方視界の妨げになる場所に取り付けないでください。
- 取り付け場所の汚れやワックスなどをきれいに拭き取り、確実に固定してください。再貼り付けや汎用の両面テープなどで取り付けると接着が弱くなりカメラが落下する恐れがあります。またフッ素樹脂加工処理された車体やガラスに取り付けないでください。
- あらかじめカメラとモニターを仮接続し、カメラを取り付けたい場所にあててバンパー直下が見えることを確認のうえ、取り付け位置を決めてください。このときカメラが車両に当たらないことを確認してください。（一度、貼り付けると貼り直しができません）
- ガラス面に取り付ける場合は、リアワイパーにカメラが当たらないことを確認してください。
- 取り付け面の温度が低い(外気温20℃以下)時は、接着力を上げるためドライヤーなどで温めてから取り付けてください。（室内ヒーターやリアウインドーの熱線なども効果があります）
- 雨天時（霧雨時など）は、室外で取り付けをしないでください。（接着力が弱くなり、カメラが走行中にはがれ落ちる危険性があります）
- カメラを取り付け後、24時間以内は雨中の走行や水をかけたり無理な力を加えないでください。カメラブラケットの接着力が弱くなりはがれ落ちる危険性があります。（晴天時など通常の走行にはさしつかえありません）
- コード類は、運転操作の妨げにならないようテープ等でまとめてください。

使用上のご注意

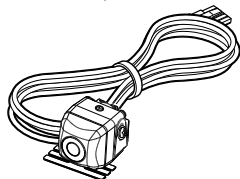
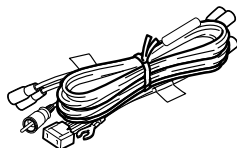
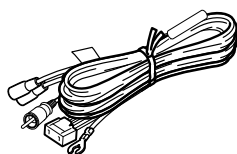
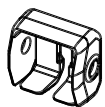
- 本機は広角レンズを使用していますので、実際より遠めに映ります。必ず目視で周囲の安全を確認してから後退運転を行ってください。
- 長時間カメラのレンズに、太陽光やヘッドライトの光などが当たると残像（焼き付き現象）が残るときがあります。長時間駐車する場合などは、光が入らないようレンズ部を覆ってください。
- 蛍光灯などで照らされた場所では、画面がちらつくことがあります（故障ではありません）。
- 走行前に取り付け状態を点検してください。
  ✔ 取付ネジがゆるんでいないか
  ✔ カメラブラケットがはがれていないか
- カメラ内および車室内に水の浸入を防ぐため、洗車する際はカメラや配線部への直接放水は避けてください。
- 高圧の自動洗車機や高圧洗浄機など、高圧力の水で洗車は行わないでください。カメラ内に水が入ったりカメラが落下する恐れがあります。

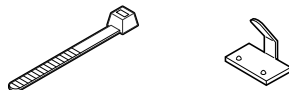
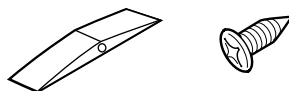
本機のお手入れ

- 汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり変形や変質、破損の原因になります。
- レンズ部が汚れている場合には、水を含ませた柔らかい布で軽く拭いてください。乾いた布で強くこするとキズの原因になります。

付属品

カメラ用として以下の部品を付属しています。取付/接続前にご確認ください。
本製品を取り付けの際には必ず付属の取付用部品をご使用ください。

カメラ (カメラブラケット付）..........1

電源コード (CMOS-310)..........1

電源コード (CMOS-210)..........1

カメラカバー 1

カメラ後面部が隠れない場所に取り付ける場合は、保安基準に適合させるためカメラにカメラカバーを取り付けます。

束線バンド (CMOS-310)..........7
束線バンド (CMOS-210)..........2
コードクランパー 7

防水パッキン 1
カメラブラケット固定ネジ 1

CMOS-310のみ

スイッチユニット 1
両面テープ（小）..........1

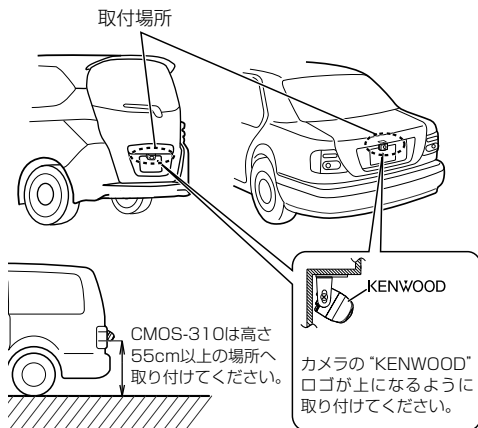
取り付けかた

⚠注意

- カメラの前面部は「道路運送車両の保安基準第18条第1項第2号」に準拠しています。保安基準に適合させるため、取り付けるときは次の例のように取り付けてください。カメラ後面部が隠れない場所に取り付ける場合は、保安基準に適合させるためカメラに付属のカメラカバーを取り付けます。
- 取り付け位置によっては、カメラ設定の調整範囲を超えることがあります。カメラ設定が完了するまではカメラを固定せずに仮止めして設定を行ってください。

推奨取付位置

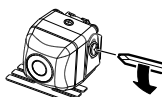
カメラの正しい取り付け例

カメラ後部を車両に隠れるように取り付けてください。カメラ後部が隠れない場所に取り付ける場合は付属のカメラカバーでカメラ後部を隠します。

カメラの取り付け/角度調整

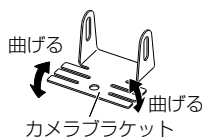
1 カメラを取り付ける位置を決める

2 カメラを取り付ける面をきれいにする

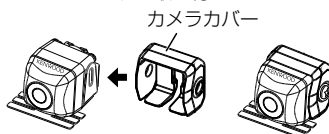
カメラブラケットを取り付ける部分の汚れ、水分、油分などを市販のクリーナーできれいに拭き取ってください。

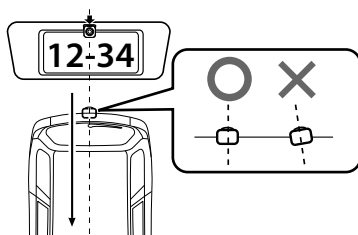
3 カメラブラケットのネジを緩める

市販の+ドライバーで取り付けネジ（2本）を緩めてください。

手順4,5は必要に応じて作業します。

4 必要に応じてカメラブラケットを取り外し、取り付ける面に合わせて整形する

カメラを取り付ける場所に合わせてカメラブラケットを整形してください。

5 カメラをカメラブラケットに取り付ける

保安基準に適合させるため、カメラ後部が隠れない場所に取り付ける場合は、付属のカメラカバーを先に組み立ててから、取り付けネジでカメラを固定します。車両に取付時に“KENWOOD”ロゴが上になるように取り付けてください。

6 カメラをテープなどで仮止めする

カメラを市販のテープなどで仮止めし、角度調整をして車両後端が確認できる位置に取り付けてください。

カメラはナンバーを隠さないように中央部分に貼り付けます。また車の進行方向に対してまっすぐ取り付けてください。カメラを車のセンター方向（中央側）に傾けないでください。

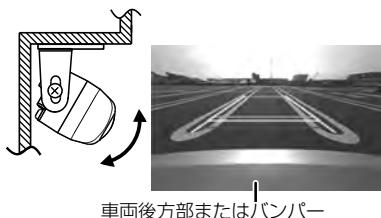
7 あらかじめすべての配線を済ませておく (8、9ページ)

8 カメラ映像を表示させる

モニターテレビによっては、自動的に外部ビデオ入力に切り替わります。詳しくはモニターテレビの取扱説明書をご覧ください。

9 シフトレバーをR（リバース）レンジにし、車両後方の映像を表示させる

カメラ映像を映し出すときには、車が動かないようにパーキングブレーキを引き、輪止めを必ず行ってください。思わぬ事故の原因となります。

10 車両後部または車両のバンパーがモニターテレビ画面の下端に映るように角度を調整する

カメラ角度調整のとき、カメラコードが突っ張らないように注意してください。

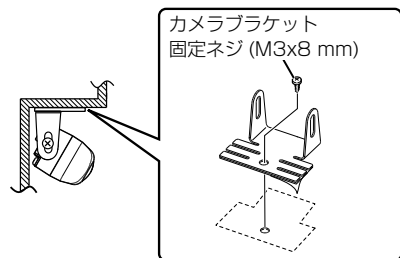
11 角度調整後、取り付けネジをしっかりと締め付ける

取付ネジは時々点検し、緩みがある場合は増し締めしてください。

12 カメラ設定を行う（12ページ）CMOS-310のみ

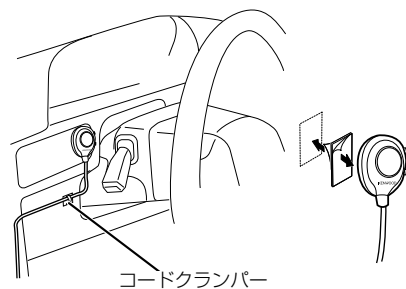
調整しきれない場合は、カメラ取り付け位置を調整してください。

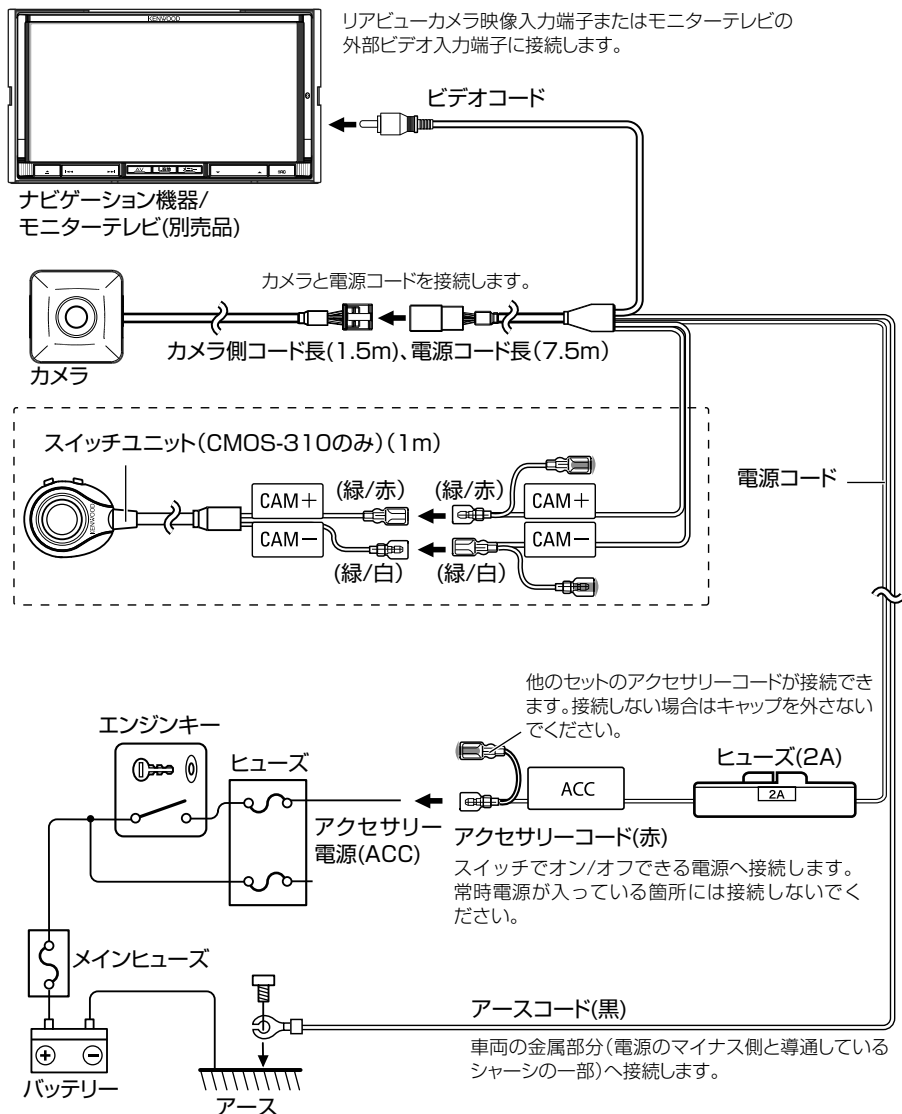
13 カメラを固定する

カメラブラケットの両面テープのハクリ紙をはがし取り付けます。取り付けた後は、確実に密着するようにカメラブラケットを指で押してください。接着面に手を触れたり、貼り直したりすると、接着力が低下してカメラブラケットがはがれる恐れがあります。また必要に応じて、ブラケット固定ネジでブラケットを車両に取り付けてください。

スイッチユニットの取り付け (CMOS-310のみ)

1 スイッチユニットを取り付ける面をきれいにする

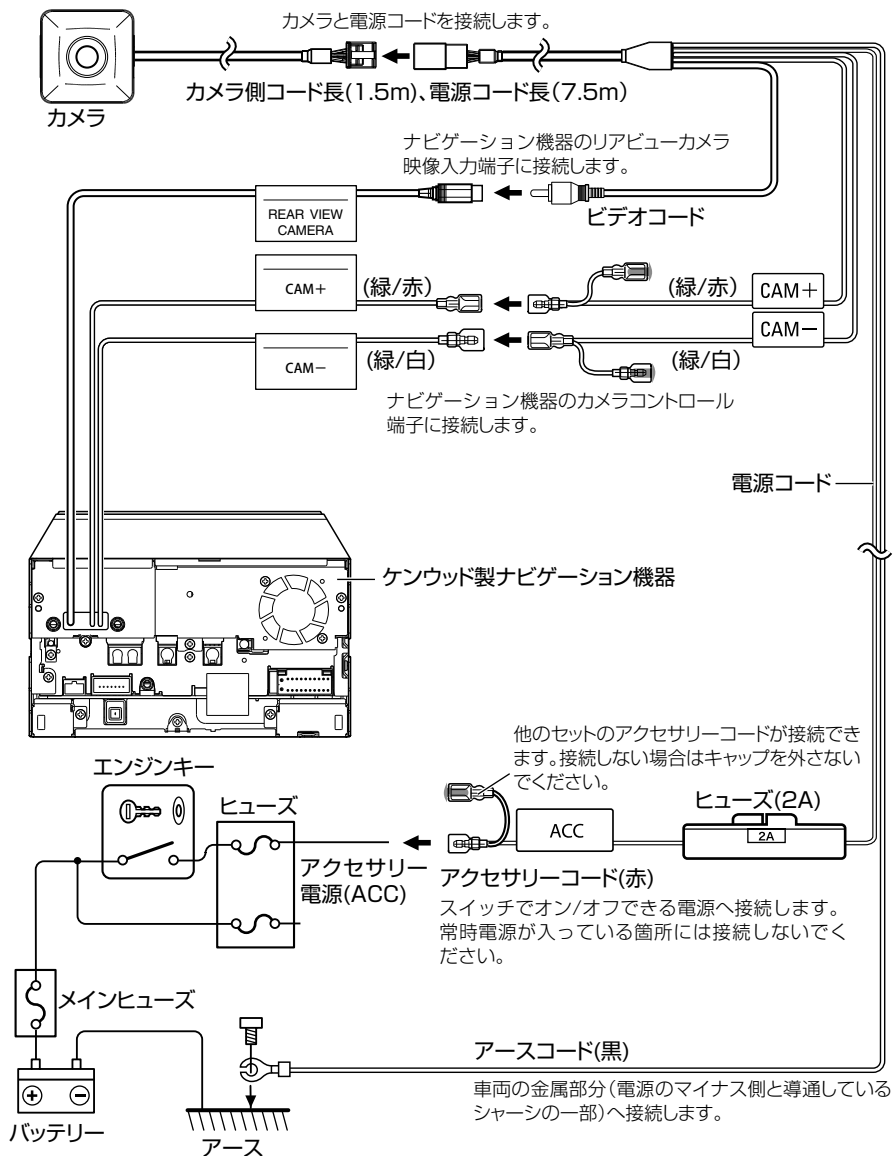
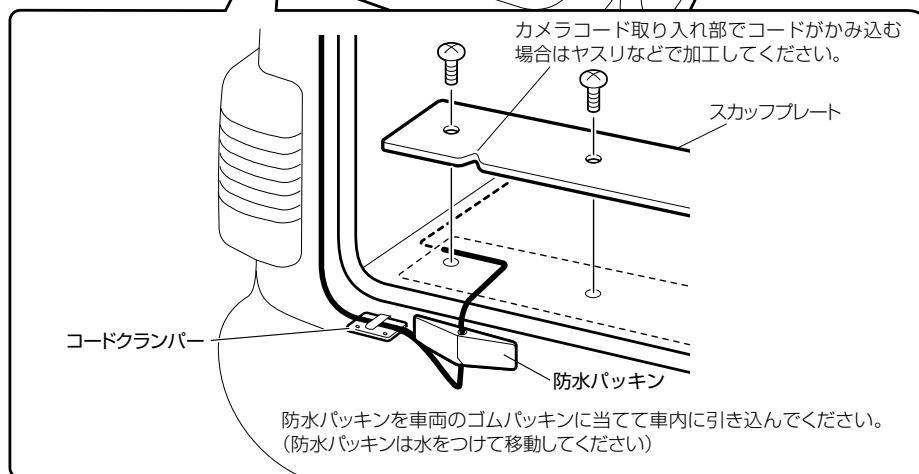
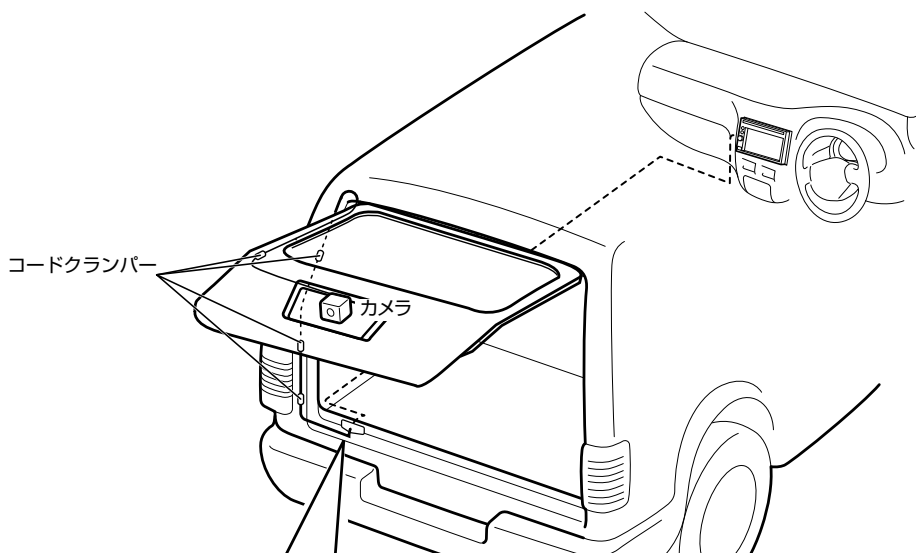
スイッチユニットを取り付ける部分の汚れ、水分、油分などを市販のクリーナーできれいに拭き取ってください。

2 スイッチユニットの裏面に両面テープを貼り付け、運転席側のダッシュボード周辺などの操作しやすい場所に貼り付ける

配線のしかた

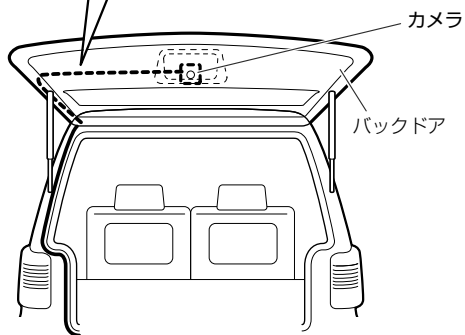
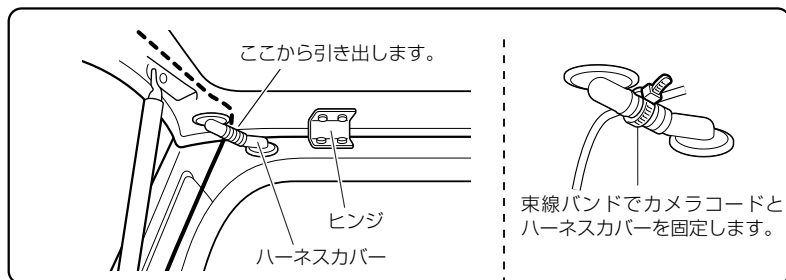
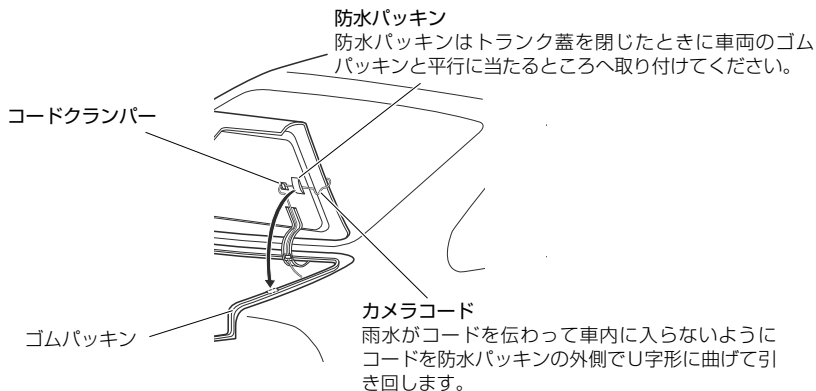
基本接続

⚠注意

- 輸入車など、車両のエンジンキーにACCポジションがない場合は、エンジンキーがオンのときに通電する配線から分岐させてアクセサリー電源コードに接続してください。
- 接続作業を行うときは、初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

システム接続 (CMOS-310のみ)

- カメラコントロール機能があるケンウッド製のナビゲーション機器に接続する場合は、付属のスイッチユニットは接続せず、CAM+/CAM−コードをナビゲーション機器に接続します。システム接続をするとナビゲーション機器のタッチパネルから、画面表示切替やカメラ調整が行えます。
- システム接続した場合は付属のスイッチユニットは使用しません。

コードの引き回し例

- コードクランパーを取り付ける部分は、クリーニングクロスで、ほこり、油膜、ワックスなどを拭きとってください。
- カメラコードと電源コードの接続部は、防水加工されていません。接続部が車室内に引き込めない場合は、必ずコード接続部に市販の防水テープなどで防水加工してから配線してください。
- カメラコードは、テレビアンテナコードから、できるだけ離してください。（テレビに妨害が入ることがあります）
- モニターテレビの電源を切っても、AMラジオ放送に雑音が入るときは、車両のワイヤーハーネスからカメラコードを離してください。

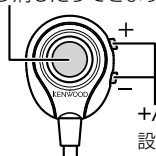
コードの引き回しポイント

- カメラコードを車内に引き込むときは、バックドアのハーネスカバーとヒンジの外側を引き回してください。
- コードを処理した後は、バックドアをゆっくり開閉し、カメラコードがドアの縁でこすれていないか確認してください。

- 車種によってはカメラコードが下側から車内に引き込めない場合があります。その場合は下図のようにコードを引き回して雨水などが車内に入らないようにしてください。

カメラ設定（CMOS-310のみ）

スイッチユニットの操作

スイッチユニットで画面表示モードを切り替えたり、ガイド線の表示有無またはカメラの調整を行います。

ビューボタン

・画面表示モードを切り替えます。
・設定モードのときは項目を決定します。
・長押しするたびにガイド線を表示したり消したりできます。

+/−ボタン

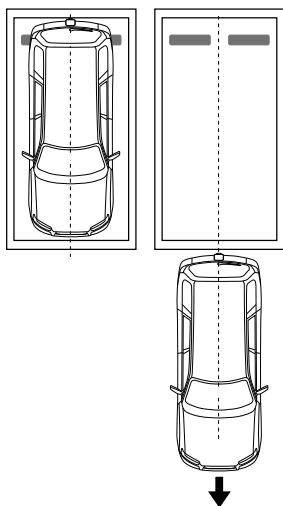
設定モードの項目の移動や調整値を設定します。

カメラ設定に入る前の準備

1　車を止める

白線とタイヤ止めのある駐車スペースで、白線枠内の中央に駐車します。

2　車を前に出す

- 車を直進させて、カメラ映像に駐車スペース全体が映る位置に移動します。
- 設定するときは必ずパーキングブレーキを引き、ブレーキを踏んで車が停止した状態で行ってください。周囲の迷惑にならない場所に止めて設定してください。

カメラ設定手順

1　あらかじめすべての配線を済ませておく（8、9ページ）

2　カメラ映像を表示させる

モニターテレビによっては、自動的に外部ビデオ入力に切り替わります。詳しくはモニターテレビの取扱説明書をご覧ください。

3　スイッチユニットのビューボタンと＋ボタンを同時に押し続けて、カメラ調整モードに切り替える

4　カメラ取り付け位置を決定する

+と−ボタンで項目を選択し、ビューボタンで決定します。

- リアカメラ（後方）として使用する場合は、「ＯＫ」を選択します。
- フロントカメラ（前方）として使用する場合は、「正像表示に切替える」を選択して「ＯＫ」を選択します。
- 「全てリセットする」を選択すると全てのカメラ設定が初期状態に戻ります。

5　カメラの調整項目を選択し調整する

カメラ調整には以下の項目があります。

1.**俯瞰映像調整**（センタリング、左右角度、上下角度）

2.**ワイドビューガイド線調整**（大きさ、左右、上下、赤線位置）

+と−ボタンで項目を選択し、ビューボタンで項目を決定します。調整項目が選ばれると調整項目のアイコンの枠が青から赤に変わります。

調整

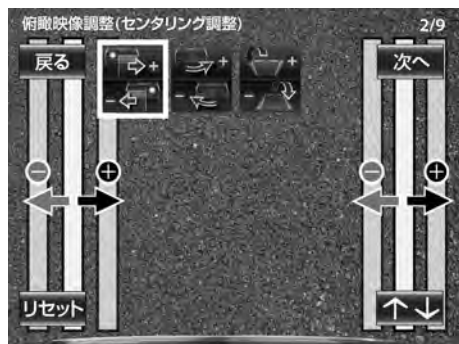
項目選択後は、+と−ボタンで調整し、ビューボタンで決定します。

6　終了する

俯瞰映像調整（センタリング調整）

カメラの取付位置の左右位置を調整します。

1　俯瞰映像調整（センタリング調整）を選択する

2　スイッチユニットの＋と－ボタンで白線が自車幅の画面中央になるように調整する

調整できる範囲は各1段階です。調整範囲に入らない場合は、カメラの取り付け位置を調整する必要があります。

- 「戻る」を選択すると、前の画面に移動します。
- 「次へ」を選択すると、次の画面に移動します。
- 「リセット」を選択すると、その項目のカメラ設定が初期状態に戻ります。
- 「↑↓」を選択するとアイコンが上下入れ替わります。

3　調整が終了したらビューボタンを押す

俯瞰映像調整（左右角度調整）へ

俯瞰映像調整（左右角度調整）

カメラの取付位置の左右角度（回転方向）を調整します。

1　俯瞰映像調整（左右角度調整）を選択する

2　スイッチユニットの＋と－ボタンで駐車スペースの中心の傾きが垂直になるように調整する

調整できる範囲は各1段階です。調整範囲に入らない場合は、カメラの取り付け位置を調整する必要があります。

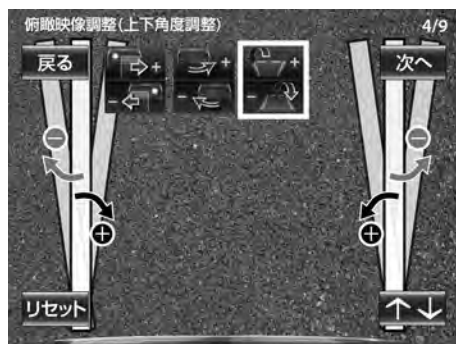
3　調整が終了したらビューボタンを押す

俯瞰映像調整（上下角度調整）へ

俯瞰映像調整（上下角度調整）

カメラの取付位置の上下角度（傾き）を調整します。

1　俯瞰映像調整（上下角度調整）を選択する

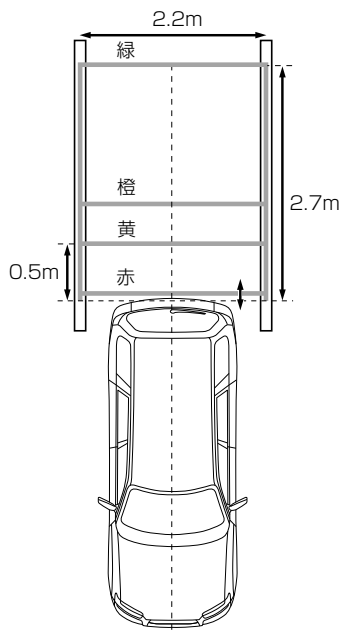
2　スイッチユニットの＋と－ボタンで車幅線の傾きが垂直になるように調整する

調整できる範囲は各1段階です。調整範囲に入らない場合は、カメラの取り付け位置を調整する必要があります。

3　調整が終了したらビューボタンを押す

4　次へを選択する

ワイドビューガイド線調整（大きさ調整）へ

カメラ設定（CMOS-310のみ）

- ワイドビューまたは俯瞰ビュー表示のときのガイド線（距離目安線）の大きさ、長さ、位置を調整します。初期値はカメラ取付高80cmで駐車場の白線の幅が2.2mの場合、下図の間隔で3本のガイド線（緑、黄、赤）を表示します。ワイドビューガイド線を調整すると各ガイド線の間隔が変わります。これらガイド線の間隔はカメラの取付高によって変わりますので、実際の設定値は調整が全て終了した後にご確認ください。
- 橙線はPinPビュー画面（16ページ）のときの俯瞰ビュー（橙線手前側）とワイドビュー（橙線奥側）が切り替わる位置を示しています。ワイドビュー映像で表示される橙線が停止線を越えたら車を減速して、俯瞰ビュー映像を見て停止位置を確認しながら赤線（停止位置）まで移動します。
- 赤線は停止位置として使用し、単独で位置を設定できます。
- ガイド線の横幅を駐車線に合わせて調整した場合は、実際に表示されるガイド線は自車の幅ではありません。駐車場のスペースは場所によって異なります。駐車するときは実際の大きさをよくご確認ください。

ワイドビューガイド線調整（大きさ調整）

ワイドビュー表示のときのガイド線全体の大きさを調整します。

1　ワイドビューガイド線調整（大きさ調整）を選択する

2　スイッチユニットの＋と－ボタンで大きさを調整する

3　調整が終了したらビューボタンを押す

ワイドビューガイド線調整（左右位置調整）へ

ワイドビューガイド線調整（左右位置調整）

ワイドビュー表示のときのガイド線全体の左右位置を調整します。

1　ワイドビューガイド線調整（左右位置調整）を選択する

2　スイッチユニットの＋と－ボタンで左右位置を調整する

3　調整が終了したらビューボタンを押す

ワイドビューガイド線調整（上下伸縮調整）へ

ワイドビューガイド線調整（上下伸縮調整）

ワイドビュー表示のときのガイド線全体の長さを調整します。

1　ワイドビューガイド線調整（上下伸縮調整）を選択する

2　スイッチユニットの＋と－ボタンで長さを調整する

3　調整が終了したらビューボタンを押す

↓ ワイドビューガイド線調整（赤線位置調整）へ

ワイドビューガイド線調整（赤線位置調整）

ワイドビュー表示のときのガイド線の赤色線の位置を調整します。停止位置の基準線を単独で設定できます。

1　ワイドビューガイド線調整（赤線位置調整）を選択する

2　スイッチユニットの＋と－ボタンで赤線位置を調整する

赤線は一番手前の黄色線に重なって表示されています。自車のバンパー端まで赤線を移動させます。

3　調整が終了したらビューボタンを押す

4　次へを選択する

↓ 設定完了画面へ

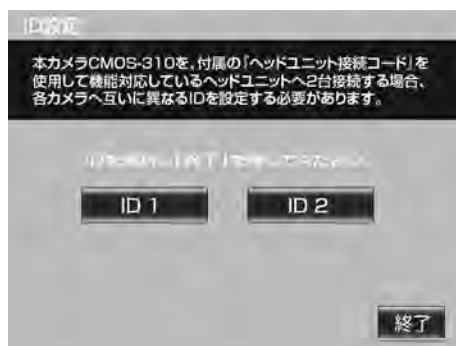
設定完了

1　スイッチユニットの＋と－ボタンで終了を選択してビューボタンを押す

カメラID設定（設定しません）

2台のカメラをコントロールする機能があるケンウッド製のナビゲーション機器に接続する場合は、カメラの識別のために、ID(識別番号)を設定します。お買い上げ時には、ID1に設定されています。

1　スイッチユニットの＋ボタンを2秒以上押したあと－ボタンを2秒以上押す

2　スイッチユニットの＋と－ボタンでIDを選択してビューボタンを押す

3　設定が終了したらスイッチユニットの＋と－ボタンで終了を選択しビューボタンを押す

画面表示を切り替える（CMOS-310のみ）

画面表示を切り替える

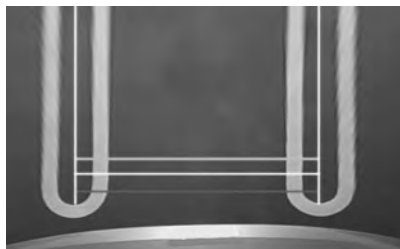
本機は5種類の画面を表示することができます。ケンウッド製のナビゲーション機器にシステム接続したときは、ナビゲーション機器のタッチパネルをタッチして画面表示を切り替えます。

1　映像が表示されているときに、スイッチユニットのビューボタンを押す

押すたびに、画面表示モードが切り替わります。

スーパーワイドビュー
水平約190度の広角なカメラ映像です。

ワイドビュー
水平約135度のカメラ映像です。

俯瞰ビュー
真上から見た視点の映像です。

PinPビュー
俯瞰ビューとワイドビュー映像を上下に表示します。
上部の俯瞰ビュー映像は下部のワイドビュー映像で表示している橙線手前の範囲を表示します。

コーナービュー
車両の両端の映像を左右に表示します。

仕様一覧

カメラ部 (CMOS-310)

出力映像:広角鏡像(後方確認用)/広角正像(前方確認用)
撮影素子 : 1/4インチ カラー CMOSセンサー
画素数 : 約31万画素
レンズ : 広角、焦点距離　f=0.82mm　F値 2.4
画角 : 水平 (約190°) 垂直 (約151°)
標準映像出力レベル : 1.0Vp-p (75Ω)
照度範囲 : 約0.9 ～ 10万Lux
アイリス方式 : 電子アイリス
走査方式 : インターレース
同期方式 : 内部同期
外形寸法 (W × H × D) : 24 × 24 × 24.9 mm
質量 (重さ) : 約36 g (コードを除く)

カメラ部 (CMOS-210)

出力映像 : 広角鏡像 (後方確認用)
撮影素子 : 1/4インチ カラー CMOSセンサー
画素数 : 約31万画素
レンズ : 広角、焦点距離　f=1.41mm　F値 2.3
画角 : 水平 (約130°) 垂直 (約101°)
標準映像出力レベル : 1.0Vp-p (75Ω)
照度範囲 : 約0.9 ～ 10万Lux
アイリス方式 : 電子アイリス
走査方式 : インターレース
同期方式 : 内部同期
外形寸法 (W × H × D) : 24 × 24 × 24.9 mm
質量 (重さ) : 約34 g (コードを除く)

スイッチユニット部 (CMOS-310のみ)

外形寸法 (W × H × D) :
27.5 × 32.8 × 12 mm
質量 (重さ) : 約10 g (コードを除く)

電源部

電源電圧 (⊖アース) : 14.4 V (9.0 ～ 16.0 V)
最大消費電流 :
約80 mA (CMOS-310)
約60 mA (CMOS-210)

- 鏡像とは、バックミラーやサイドミラーと同様に、左右反対に映ることをいいます。
- これらの仕様およびデザインは、技術開発にともない予告なく変更になる場合があります。

保証とアフターサービス　必ずお読みください

保証について

● **保証期間**

お買上げの日より **1 年** です。

修理を依頼されるときは

製品の電源をオフにしてから、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにお問い合わせください。
（「ケンウッド全国サービス網」をご参照ください。）

● **保証期間中は ...**

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターが修理させていただきます。ご依頼の際は保証書をご提示ください。
本機以外の原因（衝撃や水分、異物の混入など）による故障の場合は、保証対象外になります。

● **保証期間経過後は ...**

お買い上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望により有料にて修理いたします。
補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後 6 年です。
（補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。）

● **持込修理**

この製品は持込修理とさせて頂きます。

- 本機をお持ちになるときは、接続しているユニットも一緒にお持ちください。
  （本機や一緒に持ち込まれるユニット内のディスクやテープなどのメディアはあらかじめ取り出してください。）
- 製品を修理に持ち込まれる際は、輸送中に傷が付くのを防ぐため、包装してください。

● **修理料金のしくみ**（有料修理の場合は、つぎの料金が必要です。）

- **技術料：製品の故障診断、部品交換など故障箇所の修理および付帯作業にかかる費用です。**
  技術者の人件費、技術教育費、測定器等設備費、一般管理費等が含まれます。
- **部品代：修理に使用した部品代です。**
  その他修理に付帯する部材等を含む場合があります。

なお、アフターサービスについてご不明な点は、お買上げの販売店またはケンウッドサービスセンターにご遠慮なくお問い合わせください。

ケンウッド 全国サービス網

アフターサービスについてのお申し込みは、購入店かお近くのケンウッドサービスセンターへお申しつけください。

北海道			
札幌サービスセンター	〒 004-0005	札幌市厚別区厚別東五条1丁目2-29	☎ (011) 807-3003

東北			
仙台サービスセンター	〒 984-0011	仙台市若林区六丁の目西町7-13	☎ (022) 287-0151

関東・信越			
さいたまサービスセンター	〒 331-0812	さいたま市北区宮原町1-202	☎ (048) 778-8714
千葉サービスセンター	〒 277-0863	柏市豊四季512-10-67	☎ (04) 7171-3800
横浜サービスセンター	〒 226-8525	横浜市緑区白山1-16-2	☎ (045) 939-6242
東東京サービスセンター	〒 135-0023	東京都江東区平野3-2-6 木場パークビル1F	☎ 0120-2727-87
(修理持込専用窓口) 電話でのお問合せはJVCケンウッドカスタマーサポートセンターにて承ります。			
八王子サービスセンター	〒 192-8525	東京都八王子市石川町2967-3	☎ (042) 646-6914
新潟サービスセンター	〒 950-0923	新潟市中央区鐙1-5-23	☎ (025) 245-2177

中部・甲州			
名古屋サービスセンター	〒 481-0041	北名古屋市九之坪鴨田121-1	☎ (0568) 24-1644
静岡サービスセンター	〒 420-0816	静岡市葵区沓谷5-61-1	☎ (054) 262-8700
金沢サービスセンター	〒 921-8062	金沢市新保本4-65-17	☎ (076) 269-2935

近畿・四国			
大阪サービスセンター	〒 532-0027	大阪市淀川区田川2-4-28	☎ (06) 6390-8005
高松サービスセンター	〒 761-8057	高松市田村町205-1	☎ (087) 802-6055

中国			
広島サービスセンター	〒 730-0825	広島市中区光南3-9-17	☎ (082) 241-0023

九州			
福岡サービスセンター	〒 812-0031	福岡市博多区沖浜町11-10サンイースト福岡1F	☎ (092) 283-6675
鹿児島サービスセンター	〒 891-0114	鹿児島市小松原1-5-17	☎ (099) 268-0030
沖縄サービスセンター	〒 901-2224	宜野湾市真志喜1-11-12 コモンズビル1F	☎ (098) 898-3631

■ サービスセンターの営業時間のご案内
受付時間　10:00～18:00 (土曜、日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
(各サービス窓口の名称、所在地、電話番号は変更になることがありますのでご了承ください。)

● 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。

フリーダイヤル 0120-2727-87
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950
FAX　045-450-2308
住所　〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12
受付時間　月曜～金曜　9:30～18:00
土曜　9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

● 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または最寄りのサービスセンターにご相談ください。

保証書

持込修理用
（日本国内専用）

品名	マルチビュー車載カメラ スタンダードリアビューカメラ	形名	CMOS-310 CMOS-210
保証期間	（お買上げ日より）1 年間		
※ お買上げ日	年　　月　　日		
※ お客様	お名前　　　　　様 ご住所 電話番号　　（　　　）		
※ 販売店	店名 住所 電話番号　　（　　　）		

※ 印欄は必ずご記入ください。

お客様の正常なご使用状態で万一故障した場合には、本書記載内容により無料修理させていただきます。

- 修理は、保証書を添えてお買い上げの販売店または、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及びその後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

無料修理規定

1. 保証書に呈示の保証期間内に取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、お買い上げの販売店またはケンウッドサービスにて無料修理をさせていただきます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご依頼ください。なお、修理に際しては必ず保証書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品等で保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理を依頼できない場合には、本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、お近くのケンウッドサービス窓口へご相談ください。
5. **次の場合には保証期間内でも有料になります。**
   (1) 保証書のご提示のない場合。
   (2) 保証書にお買い上げの年月日、お客様名、販売店名の記入捺印のない場合、または字句を書き替えられた場合。
   (3) 使用上の誤り、不当な修理、調整、改造による故障及びそれが原因として生じた故障及び損傷。
   (4) 故障の原因が本製品以外の機器にある場合。
   (5) お買い上げ後の取付け場所の移動、輸送、落下、冠水などによる故障及び損傷。
   (6) 火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、鼠害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。
   (7) 一般家庭以外に使用された場合の故障及び損傷（例えば、業務用の長時間使用、車両＜車載用製品を除く＞、船舶への搭載等）
   (8) 製造番号の改変及び、取り外した製品。
   (9) 消耗部品 (例えばプレーヤーの針、回転機器のベルト、テープレコーダーのヘッド、乾電池、充電池) の交換。
   (10) 持込修理対象品でお客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金。
6. 保証書は、日本国内においてのみ有効です。 (This warranty is valid only in Japan.)
7. **保証書は、再発行しません。大切に保管してください。**

※ 修理の内容は修理伝票に記載し、お渡しします。
※ この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて、無料修理をお約束するものです。この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについて、不明の場合はお買い上げの販売店または本取扱説明書の「**ケンウッド全国サービス網**」をご覧の上、サービス窓口へお問い合わせください。
※ 保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について、詳しくは本取扱説明書の「**保証とアフターサービス**」をご覧ください。